

御寄附をいただいた企業へのインタビュー

startia

最先端を、人間らしく。

〇スターティア株式会社とは、どのような企業でしょうか。

スターティアホールディングス株式会社の中核企業としてオフィスのインフラサービスの提供を30年行っております。

我々は中小企業の「存続と成長に寄り添う」というミッションを掲げ、売上の向上に繋がるコンサルティング、業務効率化に繋がる提案で、最先端のITやテクノロジーを人間らしく、お客様のニーズに合わせた最適なソリューションを提供しています。また、新規事業として、3Dソリューションサービスを行っています。具体的には、貴重な建造物や文化財を3Dスキャナーやドローンを活用しデジタル保存（3Dデータ・3D動画・3D複製保存）で後世に守り伝える活動を行っています。

〇「文化レジリエンス事業」へ御寄附いただいた理由について教えてください。

文化財を守り伝えるという「文化レジリエンス事業」の目的に感銘を受け賛同致しました。

また、我々の掲げているミッションや活動方針と一致している事も大きな要因です。

弊社では社会貢献の一環として、「役に立つ」を詰め込んだ法人向けトータルサポートサービス「ビジ助」に取り組んでおり、その売上の一部を寄附させていただいております。

〇文化財所有者の皆さんへメッセージをお願いします。

文化財に関わる3Dソリューションサービスにご興味ございましたら、お気軽にご相談ください。

「文化財通信」では、寄附者様へのインタビューを通じて、京都の文化や文化財に対する想い、そして「文化財を守り伝える京都府基金」への御意見などをお聞きしています。

今回は東京都の「スターティア株式会社」様にお話を伺いました。



〇3Dデータを活用した文化財の新たな保存の道（写真上段）



〇3Dデータに基づく複製（写真中段）

〇3Dスキャナー撮影の様子（写真下段）



3Dソリューション

資料ダウンロード・お問い合わせ先